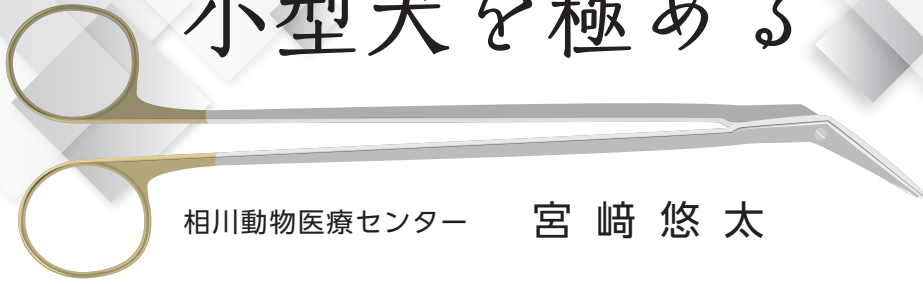


全集中の整形 小型犬を極める



相川動物医療センター 宮崎悠太



陸ノ型「免疫介在性関節炎」

はじめに



関節炎 (arthritis) は炎症の程度に応じて臨床的に「炎症性」と「非炎症性」に分けられ、「炎症性」関節炎は感染性関節炎と免疫介在性関節炎 (immune-mediated polyarthritis: IMPA) に分類される (図1)。

IMPA はX線検査でのびらんの有無や基礎疾患に応じてさらに細分され、感染、炎症、腫瘍などに続発する反応性関節炎、薬剤誘発性関節炎、シャー・ペイや秋田犬などでみられる犬種特異性多発性関節炎、全身性エリテマトーデス (SLE)、リウマチ様関節炎などがある (表1)。

非びらん性のIMPAで基礎疾患が明らかでないものを特発性IMPAと呼び、犬のIMPAで最も多い。本稿ではIMPAのうち特発性IMPAについて解説し、

最後に特発性IMPAとその他のIMPAの症例を紹介する。

びらん性
・リウマチ様関節炎
非びらん性
・特発性
・反応性
・薬剤誘発性
・全身性エリテマトーデス
・犬種特異性 (秋田犬、シャー・ペイ)
・多発性関節炎・筋炎症候群
・多発性関節炎・髄膜炎候群

表1. 免疫介在性関節炎の分類

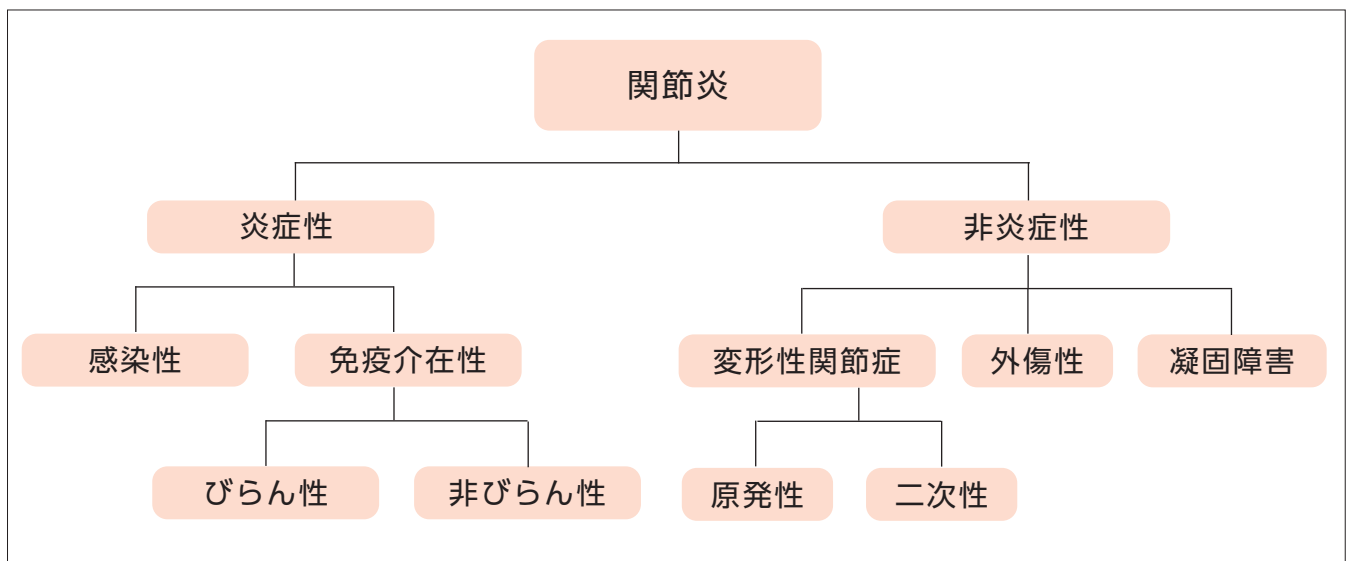


図1. 関節炎の分類